



昭和西川×日本薬科大学×高校生プロジェクト

高校生が「自分で使いたい枕」を開発！?

高校生プロジェクトの一環として、企業・大学と共同で商品開発を行う「産学官連携プログラム」にも取り組んできました。



今年度は、市内に工場を有する寝具メーカー・昭和西川株式会社と、県内にキャンパスを有する日本薬科大学が、高校生とタッグを組んで「枕」を開発。

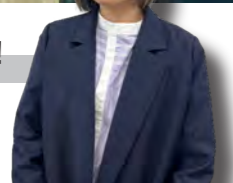
日本薬科大学教授から睡眠の重要性について講義を受け、さまざまな枕の寝心地や触り心地をチェックしたり、昭和西川の工場で製造工程を見学するなど、試行錯誤を経て高校生のフレッシュなアイデアをいかした枕を開発しました。

開発した枕は、合同文化祭で成果発表・展示を行い、4月からはふるさと納税の返礼品としても登録予定です。



高校生にひとこと!

合同文化祭に来場した方に枕のこだわりを話す姿を見て、今回の取組をしてよかったと心から思いました。



南雲 美加子さん
昭和西川株式会社

? なぜ、6校なのに「七」高祭なの? 6? 7?

令和4年度までは、市内に7つの高校が所在していたため、高校生プロジェクトを「七高祭」と称してきました。

しかし、令和5年度より、県立児玉高校と県立児玉白楊高校が統合し、新生「児玉高等学校」が誕生しました。これを受けて、市内の高校の数は現在6校となっています。

…6校だけど“七”高祭を名乗るのか?

この問いに対して現役高校生からは、「これまで7つの高校があって、皆で一緒にさまざまなことに取り組んできた歴史を大切にしたい」との意見が上がりました。

こうした高校生たちの意見を尊重し、高校生プロジェクトの総称として「七高祭」という名称を使い続けることとなりました。

だから七高祭なのか!



高校生プロジェクト

七高祭のガイヨウ

そもそも高校生プロジェクトってなに?

本庄市は、人口規模と比較し高校の数が多く、市内で学ぶ約5千人の高校生を大切な地域資源と考え、連携事業（高校生プロジェクト）を実施しています。平成20年度に始まった高校生プロジェクトには市内の高校生が参加し、学校や学年の垣根を越えた交流の場、地域とのふれあいの機会になっています。

詳しくは、市HPを Check!!



令和5年度は、地域が抱えるいくつかの課題について解決策を考える「課題解決型プログラム」に加えて、市内各校が一堂に会して行う「合同文化祭」、そして日本薬科大学と寝具メーカー・昭和西川株式会社と連携して商品開発を行う「産学官連携プログラム」を実施しました。

課題解決型プログラム

地域が抱えるいくつかの課題について、高校生・地域・行政が連携して、まちでの実地体験を通じて解決策を考えました。

01. テーマ選び

「①ごみの減量」「②商店街の賑わい創出」「③本庄野菜のPR」「④児玉駅周辺の賑わい創出」の4つのテーマについて、どんな課題があるのかを知り、考えてみたいテーマを選ぶ。

02. フィールドワーク

自分が興味を持ったテーマについて、まちに出て体験しながら解決策を考える。

03. 取組発表

合同文化祭で、自分たちが取り組んだ内容について、発表する。

合同文化祭

高校生が主体的に企画・運営する、6校での合同文化祭を、4年ぶりにはにぼんプラザで開催しました。

日時 1月28日(日) 午前10時～午後5時

会場 はにぼんプラザ

- ・参加高校生によるイベント企画
- ・産学官連携プログラムで開発した商品のお披露目
- ・部活動のステージパフォーマンス
- ・地元店舗の出店
- ・課題解決型プログラムの取組発表

などを実施、当日は多くの方で賑わいました。

産学官連携プログラム

「オリジナル枕を開発しよう」

市内に工場を有する寝具メーカー・昭和西川株式会社と地域連携事業に積極的に取り組む日本薬科大学と連携し、市内の高校から代表生徒が参加して「枕」を制作しました。



合同文化祭 ステージパフォーマンス

合同文化祭当日、参加校の部活による熱いパフォーマンスが繰り広げられました。その一部をご紹介します。

本庄高校	軽音楽部 「N b x y」
	「Second title」によるライブ
本庄東高校	演劇部 演目：中二病からの脱出
	箏曲部 ハナミズキほか
	ダンス部 Let's DANCE WITH MARIO! ほか
	合唱部 スタジオプリメドレーほか
	書道部 書道パフォーマンス



令和5年度七高祭の歩み

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月



監修：昭和西川株式会社 日本薬科大学

※マッチノブカツ...高校生がそれぞれ興味のあることや好きなことごとにと集まり学校の外で作るグループ=「部活」